<使用上の注意続き>

4. 適用上の注意
投与経路：手指消毒以外の目的には使用しないこと。
使用時：
（1）反復使用した場合には、脱脂等による皮膚荒れを起こすことがあるので注意すること。
（2）血清・膿汁等の有機性物質は殺菌作用を減弱させるので、これらが付着している場合は、十分洗い落としてから使用すること。
（3）石けん類は本剤の殺菌作用を減弱させるので、予備洗浄に用いた石けん分を十分に洗い落としてから使用すること。
（4）引火性、爆発性があるため、**火気には十分注意する**こと。
（5）溶液の状態で長時間皮膚と接触させた場合に皮膚化学熱傷を起こしたとの報告があるので、注意すること。

5. その他の注意
クロルヘキシジングルコン酸塩製剤の投与により、ショック症状を起こした患者のうち、数例について、血清中にクロルヘキシジンに特異的なIgE抗体が検出されたとの報告がある。

【薬効薬理】
1. 本剤は使用濃度において、栄養型細菌（グラム陽性菌及びグラム陰性菌）、酵母様真菌、ウイルス等には有効であるが、細菌芽胞（炭疽菌、破傷風菌等）や一部のウイルスに対する効果は期待できない。
2. ウエルアップハンドローション0.5%の殺菌作用
本剤は*in vitro*の試験において、黄色ブドウ球菌、表皮ブドウ球菌、腸球菌、大腸菌、緑膿菌、*Burkholderia cepacia*、セラチア等の各種細菌を30秒以内に殺菌した。

【取扱い上の注意】
本剤の付着した白布を直接、次亜塩素酸塩で漂白すると、褐色のシミを生じることがあるので、漂白剤としては過炭酸ナトリウム等の酸素系漂白剤が適当である。

火気厳禁
第　4　類
アルコール類
水　溶　性
危険等級Ⅱ
エタノール

キャップ：PP
ボトル：PE
ラベル：PET

使用後、フィルムをはがしてキャップをはずした後、空容器を図のようにして折り目を外側に押しつぶして下さい。
（つぶした後は元に戻りません。）

A-3

ウエルアップ®
ハンドローション0.5%

開封日	年	月	日
とりかえの目安	年	月	日

速乾性擦式
手指消毒剤
ウエルアップ®
ハンドローション0.5%

1L

Wellup® Hand Lotion 0.5%
クロルヘキシジン製剤

0.5%

製造番号

使用期限

製造販売元
㈱ 丸石製薬株式会社
大阪市鶴見区今津中2-4-2
技術提携 吉田製薬株式会社

残量目安
900
800
700
600
500
400
300
200
100

ウエルアップ®
ハンドローション0.5%

2018年 4月改訂（第8版） *2017年10月改訂	
日本標準商品分類番号	872619
承認番号	21900AMX00314
薬価収載	未収載
販売開始	2007年 4月
再評価結果	1992年 6月

貯　　法：1. 遮光した気密容器に入れて保存。
2. 火気を避けて保存。
使用期限：3年（表示の使用期限を参照すること。）
注　　意：取扱い上の注意の項参照

*【禁忌（次の場合には使用しないこと）】
（1）クロルヘキシジン製剤に対し過敏症の既往歴のある者
*（2）膣、膀胱、口腔等の粘膜面
［クロルヘキシジン製剤の上記部位への使用により、ショック、アナフィラキシーの症状の発現が報告されている。］
（3）損傷皮膚及び粘膜［エタノールを含有するので、損傷皮膚及び粘膜への使用により、刺激作用を有する。］

【組成・性状】
1. 組成100mL 中
クロルヘキシジングルコン酸塩　0.5g(0.5w/v%)
及び添加物として疎水化ヒドロキシプロピルメチルセルロース、1,3-ブチレングリコール、グリチルレチン酸、アジピン酸ジイソプロピル、グリセリン脂肪酸エステル、エタノール、pH調整剤　含有。
2. 性状
無色澄明の粘稠性のある液で、特異なにおいを有する。
水、メタノール又はエタノール（99.5）と混和する。
比重　d^{20}_{20}：0.860～0.880

【効能・効果】
手指の消毒

【用法・用量】
本剤をそのまま用いる。

0.5%

ウエルアップ®
ハンドローション0.5%

*【使用上の注意】
1. 慎重投与（次の場合には慎重に使用すること）
（1）薬物過敏症の既往歴のある者
（2）喘息等のアレルギー疾患の既往歴、家族歴のある者
2. 重要な基本的注意
*（1）ショック、アナフィラキシー等の反応を予測するため、使用に際してはクロルヘキシジン製剤に対する過敏症の既往歴、薬物過敏体質の有無について十分な問診を行うこと。
（2）本剤は希釈せず、**原液のまま使用する**こと。
（3）本剤の使用中に誤って眼に入らないように注意すること。眼に入った場合には、直ちによく水洗すること。
3. 副作用
本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。
*（1）重大な副作用
ショック（0.1%未満）、**アナフィラキシー**（頻度不明）
ショック、アナフィラキシーがあらわれることがあるので観察を十分に行い、血圧低下、蕁麻疹、呼吸困難等があらわれた場合は、直ちに使用を中止し、適切な処置を行うこと。
（2）その他の副作用

	頻度不明	0.1%未満
過敏症 注1)		発疹・蕁麻疹等
皮　膚 注2)	刺激症状	

注1）このような症状があらわれた場合には、直ちに使用を中止し、再使用しないこと。
注2）このような症状があらわれた場合には使用を中止すること。

<使用上の注意続く>

[redacted]
GS1可変情報表示欄

残量目安
900
800
700
600
500
400
300
200
100